

小 論 文

宇宙航空システム工学科 宇宙航空システム専攻・航空整備学専攻

〔出題方針〕

本学の宇宙航空システム工学科の宇宙航空システム専攻と航空整備学専攻の小論文では、受験生が航空宇宙分野や航空運輸業界に対して抱いている興味関心の深さや意欲を、アドミッションポリシーに沿って、基礎学力や論理的思考能力を活かして自らの考えを的確かつ説得力ある文章で表現できる力を有しているかを見たいと考えています。出題されるテーマは、高校生の日々の生活や体験を通して記述可能な内容とし、専門的知識を問うものではなく、自分の意見を論理的にまとめることを求めています。また、その中には国際化や多様性への理解、協調性を意識した視点、将来への展望を含めることも望まれます。これにより、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を総合的に確認し、航空宇宙産業や航空運輸業界で活躍するための資質を見極めます。

〔評価の観点〕

- 課題の問いかけに対して適切に回答していること
課題文の意図を正しく理解し、求められたテーマに対して的確な回答を示すことが最も重要です。テーマから逸脱した内容や、問いに直接答えていない文章では評価につながりません。テーマの趣旨に沿って、自分の意見を述べることが重要です。
- 決められた文字数以内に自分の考えをまとめ、表現できていること
制限文字数を守ることは基本的なルールです。文字数オーバーや不足は減点対象となります。限られた文字数で自分の考えを簡潔にまとめ、無駄な表現を避けること、要点を整理し、読みやすく明確な文章を書くことが重要です。
- 論理的に文章が構成されていること
文章は、主張・理由・具体例・結論の流れが自然であることが必要です。論理の飛躍や矛盾があると説得力を失います。段落構成を意識し、読み手が理解しやすい構成になっているかが重要です。

〔2026年度 専願志選抜 小論文 出題意図〕

宇宙航空システム工学科の宇宙航空システム専攻と航空整備学専攻での修学に必要な意欲や態度をアドミッションポリシーに基づき問うています。具体的には、専門的知識や技能を修得しようとする学びに向かう力、他者と共に課題に取り組む意欲のための豊かな人間性、国際化する航空宇宙産業や航空運輸業界で活躍するためのコミュニケーション力およびそれらに基づく今後の抱負を問うことを意図しています。